

得たもの	満	選択理由(1満足~5不満足)	今後取り扱って欲しい テーマ・内容等	その他ご意見・ご要望等
<ul style="list-style-type: none"> ・教育のアウトカムズの達成度評価を学科、学部、大学のレベルで実施するやりかたの例がわかった。 ・Chief Information Officer(副学長)の存在の重要性がわかった。 ・Value ルーブリックの使い方の実例を聞くことができた。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する(IR+評価室)の概略の役割の例を聞くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトカムズ 特にgeneric skillsの具体的定量的評価法 	
<ul style="list-style-type: none"> ・海外の大学の情報(IR)を含めて、あまり知る機会が無かったのがなくなった 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・米国の大学についてのIR部門のシステムについて聞く事が出来て良かった。 ・議論が活発で良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学評価に関する海外の事例 	
<ul style="list-style-type: none"> ・データに基づいて教育改善を議論・検討する専門委員会を作るとよいのではと思いました。IR部署のメンバーは入らない。IR部署が一方的に話をして、周りがついてこない状況を避ける。大きな会議、FD委員会などは扱う範囲が広いところに情報を出すだけでなく、データによる改善に特化した組織を活用する。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・何のためにデータを集めるか、そのデータの出所をどうやって把握するかをあらためて考える機会となりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを活かした組織的な改善活動の事例紹介(試行段階でも) ・大学に限らず、企業や非営利団体での改善活動も参考になりそうに思います。(大学はある程度同じ話になるので、別の視点が得られるのではと思います。) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・全学のアウトカムの測定が課題でしたが学位プログラムレベルでの測定を活かすという視点は実践したいと思いました。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「ラーニングアウトカム」の設定、運用、測定といった諸課題について改善に向けての知見が得られたため。 	<ul style="list-style-type: none"> ①具体的に学位レベル(学部)でのアセスメントの方法(本日、3点以上の多角的な視点で、というお話がありましたが、例えば「経済学」「コミュニケーション学」などの各分野ごとの方法論) ②大学全体のアセスメント結果の示し方の具体的な方法(本日、LOの階層性が見えてきましたので、最終的なレポートをどのように見せているのかを知りたいです) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。